



平成22年9月18日(土)  
名城大学天白キャンパスにて  
「くすりの正しい飲み方：くすりと安全に安心して付き合う」  
の「くすり教室：実験講座」を開催

特定非営利活動法人医薬品適正使用推進機構は、国民にくすりを安全に安心して使っていただくために薬剤師や国民に対する教育講演や学会を開催しています。その活動の一つとして、小学生にもくすりのことを知っていただく講演会や体験実験を行っています。この活動では、愛知県下の薬学部生が実験を手伝い、将来薬剤師としての技能や態度を学ぶことも目的の一つとしております。こうした活動は、読売新聞の新年版にも取り上げられております。

平成22年9月18日(土)、名城大学天白キャンパスにて「くすりの正しい飲み方：くすりと安全に安心して付き合う」の「くすり教室：実験講座」を下記の内容で開催しました。当日は、名城大学の関係者のご協力により、未就学生1名、小学生26名、中学生4名およびそのご父兄12名が参加しました。講義と体験実験は、小学生ばかりでなく、ご父兄にも大変分かり易かったと大好評でした。また、実験に関わった名城大学薬学部の教員、研究員1名、大学院生8名、学部生40名から、特に学部学生からは、平坦な言葉で説明することの難しさを経験でき、今後の勉学に大いに役立ったという意見が多く得られました。

名城大学天白キャンパスにおける「くすり教室」

日時：平成22年9月18日(土) 10時～12時30分  
場所：名城大学天白キャンパス共通講義棟北の NO03 教室  
内容

- ・第一部「じっけん」を始める前のお話し  
くすりをどのように飲んだら良くきき、副作用を防ぐことができるか、大学生が漫画を使ってわかりやすく説明しました。
- ・第二部：「じっけん」  
小学生は6グループ(1グループ5～6名)、ご父兄は2グループ(1グループ5～6名)に分かれ、お話の内容をより理解できるように、特定非営利活動法人医薬品適正使用推進機構理事長 鍋島俊隆先

制作：名城大学薬学部病態解析学 I  
(小谷悠、室崎千尋、野田幸裕)  
監修：名城大学薬学部薬品作用学  
NPO J-Do  
(鍋島俊隆)



生、名城大学薬学部 野田幸裕教授、飯田耕太郎準教授、間宮隆吉助教および名古屋大学 GCOE 毛利彰宏特任助教の指導の下、名城大学薬学部の大学院生および学部生が小学生とそのご父兄と共に実験を行いました。

<じっけん項目>

1. どうして「カプセル」になっているのだろう？
2. コップ1ばいの水かぬるま湯でくすりを飲むのはなぜ？
4. コップ1ばいの水かぬるま湯にも例外があるのを知ってる？
5. 「ざやく」ってなんだろう？
6. くすりを「お茶」で飲むとどうになってしまうの？

